

ellipse

[エリプス]

TOPICS

65年前の子どもたちからのメッセージが三冠受賞！
『絵日記による学童疎開 600日の記録』
—お茶の水学童集団疎開の記録—

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を[エリプス]と名づけました。



ワ・タ・シ

深津知寿 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

REPORT

感謝状に寄せて

(お茶の水学術事業会理事長 平野由紀子)

子どもたちとともに時を刻むお人形たち

—お茶の水女子大学附属幼稚園

お茶の水学術事業会協賛・講師派遣事業

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報

桜蔭会埼玉支部 講演会

事務局よりお知らせ



特定非営利活動法人

お茶の水学術事業会

65年前の子どもたちからのメッセージが三冠受賞！

『絵日記による学童疎開600日の記録』 —お茶の水学童集団疎開の記録—

お茶の水女子大学附属小学校の卒業生グループ「平和祈念プロジェクト 21」が制作した DVD とスライド『絵日記による学童疎開 600 日の記録』が、『文部科学省選定および特別選定』、『日本視聴覚教育協会第 56 回優秀映像教材選奨 社会教育部門 優秀作品賞』、『第 36 回自作視聴覚教材コンクール 社会教育部門 優秀作品賞』の三冠に輝きました。



▲ 6 年女子「始メハ悲シカツタワ」

「平和祈念プロジェクト 21」という名称には、「命と自由と平和」がとても大切なものだという、20 世紀半ばの戦争体験の記録を 21 世紀に伝えたい、という思いが込められています。

実際に集団疎開に参加した前田徳子さんと美川季子さん（昭和 22 年卒）が発起人となり、当時の児童達の絵日記・その他の資料を集め、約 1 年 8 ヶ月に及ぶ疎開生活が実際にどのようなものであったかを詳細に検証し、資料集や本、そして DVD にまとめました。このような形で学校として集団疎開の記録が保存されているのは、全国でも他に例がないそうです。

「時代の証言者」ともいべきこれらの資料を一人でも多くの方に見ていただきたいと、ホームページに掲載しているほか、各地で展示や講演なども精力的に行ってきました。

2010 年 8 月 3 日（火）～ 15 日（日）には、「神奈川県立地球市民 あーすぶらざ」での展示を予定しています。

DVD『絵日記による学童疎開 600 日の記録』 作品概要

昭和 16（1941）年 12 月の真珠湾攻撃から始まった太平洋戦争は、最初こそ勝ち進んでいきましたが、日本の敗色が濃くなってきた昭和 19（1944）年の夏、時の政府は大都市の子ども達

を安全な地方へ移す「疎開」を実施しました。

東京女子高等師範学校附属国民学校（現お茶の水女子大学附属小学校）では 2 年生から 6 年生までの児童約 300 名が親元を離れて、先生と共に約 600 日間の疎開生活を送りました。疎開先は、昭和 19 年 8 月 21 日から昭和 20 年 3 月 31 日までが、現在も学校の農園として使われている萩山。空襲が激しくなった同年 4 月 10 日からは富山県福光町に再疎開しました。8 月 15 日に日本の敗戦によって、戦争は終了しましたが疎開期間は延長され、更に半年を北国で過し焦土と化した東京に帰ったのは、昭和 21 年 3 月 8 日でした。

戦後 40 年にあたる昭和 60（1985）年に、福光を訪問したことがきっかけとなり、資料の収集と記録のため「お茶の水学童疎開の会」が発足し、疎開中に毎日児童が書いていた絵日記を中心に、家族との通信、先生・親・受け入れ側の方達の証言やアンケートを通して、お茶の水の疎開がどのような形で実施されたかについての情報・資料・記録収集の作業を開始しました。

集まった資料はカラーコピーをし、1989 年に『第二次世界大戦学童疎開記録集』（全 11 巻、A3 判・約 3500 枚）として、国立国会図書館・お茶の水女子大学附属図書館に納入し、



▲ DVD は、写真資料と 68 日分の絵日記を収録し、疎開について分かりやすくまとめられている



▲ 昭和 21 年 1 月 11 日 3 年女子一冬になっても 1 日中戸外で過し、焚き火・押しくらまんじゅう・駆け足などをして寒さをしのいだ。

一部は小学校4階の資料室に保管されています。

疎開出発から50年の平成6(1994)年、終戦50年の平成7年には、伊勢丹新宿本店他各地で疎開展を行いました。

また『疎開の子ども600日の記録』(径書房)も出版しました。

そして、2008年の母校開校130周年記念行事への参加を目標に、記録の集大成としての資料の映像化に取り組み、DVD『絵日記による学童疎開600日の記録』を制作したのです。

疎開の出発から解散までを解りやすくまとめたこの作品は、戦時下の子どもたちの生活を知っていただき、「学校教育の歴史に残る学童疎開」を、戦争を知らない世代に伝える貴重な資料として評価を得ました。また、年長者に対しての心構え、敬語の使い方、漢字や文章力などは、現代の教育的資料としても参考になるのではないのでしょうか。

この記録は戦争の悲惨さを強調するものではありません。一校の記録として、子どもたちの疎開生活の日常を読んでいただくことで、「平和の大切さ」を感じ取っていただきたいと思っています。

(平和祈念プロジェクト21:前田徳子・美川季子)

お茶の水女子大学附属小学校の取り組み

DVD『絵日記による学童疎開600日の記録』では、お茶の水女子大学附属小学校の5年生が絵日記の音読を担当しましたが、そのきっかけとなったのは、佐藤孔美教諭の社会科の授業でした。

佐藤教諭は、萩山の郊外園が戦争中に疎開地であったことから、7年ほど前から、中高学年の戦争の頃の学習の授業で、前田さんと美川さんをゲストティーチャーとして招いてお話を聞いたり、絵日記を読み込んだりする時間を設けています。

疎開地での一番の楽しみが面会日に両親に会えることだったというお話を聞くと、両親と長期間離れて暮らすことなど思いもよらない現代の子ども達は、意外そうな顔をするそうです。けれども絵日記を通して、「食べ物が多かった」、「字がうまい」、「言葉遣いが丁寧でびっくりした」、「髪型がみんな一緒」等の感想を持ちながら、戦争中に自分達と同じ年頃の子供達がどのようなことを考え、どのような生活をしていたのかを学びました。



▲贈呈式にて—左より鈴木茗鏡会理事(お茶の水学術事業会理事)、若林副校長先生、前田さん、美川さん、菅本校長先生

「実際の記録に触れ、直接参加なされた先輩のお話を聞くほど心に残ることはありません。」と、佐藤教諭は今後もこのような授業を続けていくとのことでした。

また、2008年9月に行われた附属小学校創立130周年の記念行事の際には、学童疎開の展示コーナーが設けられ、多くの児童や保護者が、DVDを含め貴重な資料を見学しました。

受賞盾を母校へ—平和への祈りをこめて—

今回の栄えある賞の受賞盾は、「平和祈念プロジェクト21」より附属小学校に寄贈されました。

贈呈式は2009年10月21日に行われ、前田さんと美川さんから盾を手渡された菅本校長先生より、お祝いの言葉とともに「絵日記の文章は可愛らしくほほえましいだけでなく、当時の子どもたちの気持ちが伝わる貴重な資料です。大人も子どもも戦争を知らない世代が増えてきた今、こういう記録が子どもたちのために極めて貴重なのだと思います。ご寄贈いただいた盾は大切に保管します。」とのお挨拶がありました。

「記憶は不確かだけれど記録は色あせない。ほのぼのとした中にひそむ子ども達の貧しさ、悲しさを感じとってほしい。」—こつこつと活動を続けて25年。お二人は、現在70歳代の半ばですが、これからも体力、気力の続く限り、子ども達に平和の大切さを伝えていきたいとのことでした。

D V D と 書 籍 の お 問 合 せ ・ ご 注 文 は

平和祈念プロジェクト21 E-mail: enikki@k4.dion.ne.jp

前田徳子 : 〒211-0021 川崎市中原区木月住吉町 22-10-217 TEL / FAX : 044-433-7497

美川季子 : 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-10-34-4-1108 TEL / FAX : 03-3443-7202

★ DVD『絵日記による学童疎開600日の記録』(28分、3,000円、送料別)

★ 書籍『疎開の子ども600日の記録』(2,000円、送料別)

★ 「平和祈念プロジェクト21」制作のホームページ『絵日記による学童疎開600日の記録』

(<http://www.h5.dion.ne.jp/~s600days>) も是非ご覧ください。



▲『疎開の子ども600日の記録』には、のべ160日分の絵日記が収録されている

大学より感謝状をいただきました！

第3回ホームカミングデイ & (新制大学) 60周年記念式典

2009年10月10日(土)

午前10時より始まった記念式典には約150名が参列し、羽佐佐和子学長の挨拶、来賓の方々からの祝辞に続いて、名誉学友記及び感謝状の贈呈が行われました。



◀平野理事長(右から2人目)、青島理事(左端)と事業会スタッフ

感謝状に寄せて

お茶の水学術事業会理事長 平野由紀子

お茶の水女子大学の記念行事が10月10日にありました。新制大学となって、60年のお祝いです。

そこで、お茶の水学術事業会は大学から、感謝状をいただきました。賞状には何も細かいことは書かれていませんが、昨年の危機的な状況の中での小学校の給食室の改築への寄付に対するものです。

同窓生や一般の方で、寄付して下さった方には学友という称号をさしあげる、感謝状をさしあげる、ということが独立法人

となってからの大学の慣わしです。

当日、徽音堂には金木犀の香が満ちていました。壇上に上がって賞状をいただくのは役目と考え、遅刻しないよう参りました。賞状とともに、学長をはじめ、理事の方々から、心底の感謝の言葉をいただきました。石原事務局長をはじめ、事業会のスタッフの皆様が(賞状の)記念写真を撮ってくださいました。

NPOとして発足以来、様々な経験をしながら、大学と同窓生、また、大学と社会の良き関係を常に考え活動して参りましたが、実ったのだと思います。

事業会の会員の皆様に、この喜ばしい日のことをご報告し、これまでのご支援に対し、心より御礼を述べたいと存じます。

★記念式典後には、学科毎のイベントや歴史資料館の特別公開が行われ、お茶大グッズの販売コーナーも設けられました。お茶の水学術事業会は、オリジナル藍染ハンカチ、『湯浅年子の肖像』、お茶の水ブックレット等を販売し好評でした。

お茶の水学術事業会協賛事業のご報告

湯浅年子生誕百年記念メモリアル・カンファレンス

主催:「湯浅年子生誕百年記念メモリアル・カンファレンス実行委員会」

協賛:お茶の水学術事業会他

開催日:2009年9月26日(土)

開催場所:お茶の水女子大学本館306

参加人数:約100名

女高師出身の国際的物理学者 湯浅年子博士の生誕百年を記念するメモリアル・カンファレンスが開催され、ジョリオ＝キュリー夫妻のご長女エレヌ・ランジュバン＝ジョリオ博士をはじめ、湯浅博士と直接交流のあった方々から若い方々に至る多方面からの参会者がありました。

遠路ご来日下さった主賓のエレーヌ博士は、「キュリー家の流れを汲む日本の女性研究者湯浅年子」と題して、湯浅博士と親しまれたさまざまな出来事や思い出とともに、その人柄につい

て長時間、熱い思いをこめて語って下さり、一同大きな感銘を受けました。エレーヌ博士は多分に父君似のようにお見受けしました。長身で颯爽としたハンサムウーマンです。率直なお話ぶりからは、ご容姿そのままのお人柄を強く感じました。

続く湯浅博士ゆかりの方々によるリレートークでは、多くの逸話なども披露されました。夕刻からは茗渓会館で懇親会がもたれ、和やかに交歓しました。



▲エレーヌ・ランジュバン＝ジョリオ博士

物理学者
湯浅年子の肖像
Hajimu au bou
最後まで徹底的に
山崎美和恵 編著

なぜ、こんなにも、ひとりの女性科学者の生涯に心うたれるのか

A5判 472頁
定価:3,600円(税別)
ISBN978-4-340-40126-0

お問い合わせは お茶の水学術事業会へ

【関連報告】本年度徽音祭の11月8日には物理専攻の学生有志による「21世紀を担う若者たちへのメッセージ—湯浅年子から若い世代へ—」と題する記念企画も開催され、盛況でした。とりわけ若い実行委員諸氏(略称:YT100)の行動力とエスプリ満点の運営が見事でした。

講師派遣事業のご報告 1

小平市シルバー大学「近代文学の楽しみ —司馬遼太郎「坂の上の雲」から始める—

講師：菅 聡子先生（お茶の水女子大学教授）

日時：2009年9月15日 10:00 - 12:00

場所：小平市中央公民館 講座室2

参加人数：56名（60歳以上の男女）



レジメ6枚と、パワーポイント32枚を使用して、大変分かりやすく充実した講義でした。

有名な作品の一部が多数引用され、そこにパワーポイントによる視覚的な効果も重なり、すぐにでもその作品を読みたくくなるような内容でした。

配布されたレジメには、講義では触れられなかった作品についても、自宅で読んでも十分に分かるように紹介されており、受講生からも好評のようでした。

今回の受講生は60歳以上で、数多くの文学作品に触れている世代ということもあり、「太宰治生誕100年」及び「松本清張生誕100年」などのイベントに参加している方もいたようです。皆メモをとりながら、熱心に受講していました。

やはり、文学に関する講義はとても人気が高く、1回ではとても物足りない様子でした。

（小平市中央公民館 今野氏による）

講師派遣事業のご報告 2

講演会「子どものウソは「嘘」？ —創造的想像力を育む大人の役割—

講師：内田伸子先生（お茶の水女子大学教授）

日時：2009年10月26日 10:00 - 12:00

場所：牛込筆筒区民ホール

参加人数：95名（新宿区立津久戸小学校・市谷小学校・愛日小学校および併設幼稚園のPTA会員）



発達心理学の観点から、子どもが想像力を養っていく成長の過程を分かり易く解説してくださいました。

1枚の絵を見た時、2歳児では単に描いてある事象しか分からないが、4歳近くなるとその背景まで推測することができるようになり、さらに5歳くらいになると質問者の期待を察知し、それに応じるために本当とは違うほかの答えを探すようになるそうです。

何か話す時に創作した事柄が入り込んだり、他者に配慮したりという成長も、時として大人には嘘をついたように映ってしまうことがあります。様々な事例から、ウソのからくりについて、思い出すこと・語ること・伝えることの3点を解説してくださいました。

子どもとの会話では、

1. 子どもに寄り添う安全基地となる（信頼関係を築く）。

2. その子自身の進歩を認め誉める。他児（兄弟姉妹）と比べない。
3. 「生き字引」のように余すところなく定義を与えない。
4. 「裁判官」のように「判決」をくごさない。禁止や命令ではなく「提案」で。
5. 子ども自身が考え、判断する余地を残し、自律的思考力・創造的想像力を育む。

という心がけが大切とのことでした。

「子どもは文化・社会の「宝」であり、私たち大人がいくら手をかけても、子どもの成長によってもたらされる文化・社会への賜は、そのコストを帳消しにしても余りあるものであるに違いない。」という内田先生のメッセージが大変心に残りました。

（愛日小学校 PTA 文化厚生委員会による）



お茶の水女子大学 イベント情報

2010年1月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2010年1月 ～3月	第7回 附属図書館企画展示 『調べよオトメ ～LiSA セレクト☆レファレンスブック特集～』	無料	【会場】お茶の水女子大学附属図書館1階キャリアカフェ横 【詳細】附属図書館のHPをご覧ください。 http://www.lib.ocha.ac.jp/tenji/tenji_top.html 【お問合せ】E-mail: library@cc.ocha.ac.jp
2010年 2月20日(土) 10:00～12:00	幼児教育未来研究会 テーマ：幼稚園・学校評価を問う ◆事例提供：練馬区立光が丘さくら幼稚園 ◆助言：岩立京子先生（東京学芸大学）	無料*	【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園 【詳細・お申込み】 「幼児教育未来研究会」のHPをご覧ください。 http://www.u-gakugei.ac.jp/~miraiken/ *資料代をいただく場合がございます。
2010年4月 ～2010年8月 (前期)	公開講座「知の市場」 知の市場では2010年度に全国の数十拠点で約100科目を開講する予定です。お茶の水女子大学では知の市場の社会人向けの公開講座として2010年度には4科目を開講し、前期開講科目は、CT302a(科学と社会事例研究1)とCT531(国際石油論)です。 (知の市場 HP - http://www.chinoichiba.org/ 参照)	無料	【主催】お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 【会場】お茶の水女子大学共通講義棟1号館 【お問合せ・お申込み】 知の市場 お茶大事務局 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室) E-Mail:ocha-jim@chinoichiba.org TEL03-5978-5018、FAX03-5978-5096

講演会のご案内

「明治の女性作家 樋口一葉 ～弱者へのそして弱者からのまなざし～」

明治時代に職業作家として先駆的な道を歩んだ樋口一葉の生涯に焦点をあて、一葉の文学作品に見るジェンダーの問題や男女共生社会のあり方について、ともに学習します。



▲ 菅 聡子先生

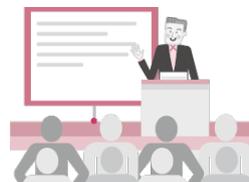
講師：菅 聡子先生（お茶の水女子大学教授）
主催：桜蔭会埼玉支部
共催：お茶の水学術事業会
日時：平成22年4月18日(日) 13:30～16:00
会場：浦和パルコ9階 浦和コミュニティセンター：第15集会室
(JR京浜東北線・高崎線・宇都宮線 浦和駅東口駅前)
参加費：無料

【お問合せ・お申込み】
桜蔭会埼玉支部事務局
〒330-0822 さいたま市大宮区宮町4-16
セイワアネックス2F
TEL: 048-649-5761 FAX: 048-641-0596
※葉書またはFAXにて、上記宛てお申込みください。
多くの皆様のご参加をお待ちしております！

事務局よりお知らせ

講演会共催のパートナー募集および講師のご紹介について

お茶の水学術事業会では、講演会やセミナーを共催していただける団体を募集しております(一定の条件があります)。また、ご要望に合わせて、講師をご紹介いたします。詳しくは、事務局までお問い合わせください。



特別寄稿

子どもたちとともに時を刻むお人形たち

—お茶の水女子大学附属幼稚園

お茶の水女子大学附属幼稚園は、1876（明治9）年11月16日に開園した我が国最初の官立幼稚園で、1931（昭和6）年6月に完成した現在の幼稚園舎は、国の登録有形文化財建造物に指定されています。

こうした伝統を受け継ぎ、附属幼稚園では、子どもたちの大切な行事である「雛祭り」と「端午の節句」のお人形も、昔ながらの飾りつけをしています。

時代の変化を超えて、子どもたちの成長を見守り続けてきた麗しきお人形たちをご紹介します。

雛飾り

春の足音が聞こえてきそうな2月末、遊戯室に色鮮やかな衣装のお人形たちが並べられます。

昭和13年に製作された15体のいわゆる「稚児雛」。衣装は特別の技法により今なお美しさを保ち、お顔は人間国宝級の匠の手によるものです。

さらに、和宮様ゆかりのお多福さんの格好をした「鏡様人形」や4体の市松人形も仲良く寄り添って飾られます。

このような日本の伝統的なお人形たちの中であってひとときわ目を引くのが、昭和2年に日米親善交流のためにアメリカからやってきた青い目のお人形、メリーさんです。ピンクのチューリップ柄の帽子と洋服を身にまとい、ほっぺもピンク色で生き生きとした表情です。当時発していた「ママー」という声は、残念ながら今は聞くことができませんが、横にすると目をつぶり、胴体は本物の子供を思わせるようなやわらかさです。



▲メリーさん

◀ 稚児雛を中心とした雛飾り



▲五月飾り

五月人形

4月末には、園庭に大きな鯉のぼりが泳ぎ始めます。

5月のお節句飾りについては、「東京女子高等師範学校」と印字された用紙に書かれた「五月人形飾形平面図」という資料が残っています。神武天皇・屏風・幟・鎧・刀・弓・太刀・扇・神馬・牛若丸・粽・金太郎・扇・太鼓・瓶（ショウブが飾られているもの）・鯉登となっており、「昭和九年までの図」と記されています。

この飾り方を引き継ぎながら、戦後に新調されたお道具類なども一緒に飾ります。



▲神武天皇を中心とした中央上段の飾りつけ



▲鐘馗の掛け軸と鎧兜

中央上段には明治時代後期に作られた「神武天皇」（第一代天皇）。歴史教育の大きな変化によって、現在では神武天皇を配さないのが主流となっていますが、附属幼稚園では明治時代後期からの伝統的な飾り方を踏襲しているのです。

出番が終るとお人形たちは、先生方の手によって一つ一つ丁寧に桐の箱に納められます。また翌年、子どもたちと会えるのを楽しみにしながら。

（附属幼稚園副園長 宮里暁美先生による）

新制大学60周年記念 絵はがき



1セット(5枚組)400円
(税込・送料別)

ばら売りも承ります(1枚80円)。
ご購入を希望する絵はがきの番号と必要枚数をご連絡ください。(送料80円～)

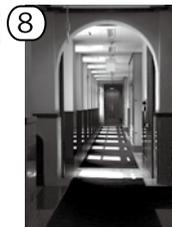
新デザインが できました



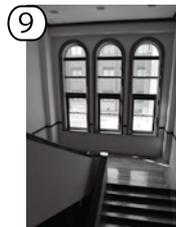
大学正門



大学本館中庭にて



大学本館2階廊下



大学本館階段

好評発売中!
お茶大絵はがき

撮影：大塚常樹氏

(お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科教授)
今後も新デザインが加わる予定です。お楽しみに!

お問い合わせは お茶の水学術事業会へ



おいしいパンと暮らそう。

たとえば、新鮮な朝の空気を深呼吸したり、
庭に咲く小さな花を見つけたり、
朝食のパンがおいしかったり。
特別なことじゃなくて、
そんな、ふとした時に感じる幸せが、
毎日をちょっと素敵に、
豊かにしてくれるのだと思います。



ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分cPA(シービーイー)は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。
雅GraceはcPAを配合した世界初のスキンケアです。

室伏きみ子(お茶の水女子大 教授) 監修

新成分
cPA
配合

肌の
ヒアルロン酸
増加

保湿
成分

コラーゲンの
働き
強化



雅Grace
グレイス化粧水 150mL

雅Graceグレイス乳液 100mL
雅Graceグレイス美容液 30mL

*写真は、グレイス化粧水 150mLです。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。
雅Grace —グレイス—、誕生。

販売元：SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。
詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX : 03-5976-1478

編集 後記

寒さの折、附属幼稚園の伝統的なお節句飾りの美しさに、一足早い春を感じていただけたのではないのでしょうか。今回も「エリプス」の編集を通して、様々な“素敵”に出会えました。戦時中の子どもの視点から、平和の大切さを訴え続けてこられた前田さんと美川さん。お二人の思いが、この先もずっと受け継がれていきますように。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は5月に、2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

*会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ